

KANAGAWA



一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

URL <http://www.j-kana.or.jp/>

E-mail info@j-kana.or.jp

2013 年
5 月号

VOL.379



オフィシャルウェブサイト (会員ページ) 情報

○会報KANAGAWAをフルカラーにて
掲載中

○会員ページへは会員番号でログイン
してください



目 次

①② 建物探訪

③ 会員作品紹介

④ 歴史的建造物を訪れて

⑤⑥ シリーズ
町並み散策 ぶらり in 神奈川

⑦ 理事会開催報告

⑧ 支部だより
事務局職員のご紹介

⑨ タウンビュー
旅のクイズ

⑩ 事務局便り
編集後記

表4 イベントのご案内

建築探訪

Always Say YES ! 最先端医療「亀田総合病院」

横浜支部 廣澤 隆志

平成25年2月26日に私が委員を務めている企画業務委員会主催で「最先端医療・病院建築とホキ美術館」バス見学会が開催されました。

参加者総勢42名を乗せたバスは朝8時ちょうどに天理ビル前を出発、千葉県鴨川市を目指し、アクアラインや道の駅「きみつ」を経て、目的地である「亀田メディカルセンター」に到着しました。病院では亀田信介院長の講義を受けることができましたが、10年先100年先のまちづくりを見越し、その基盤として今何ができるのか、何をしなければならないかという、医療のみに止まらないスケールの大きな将来像を感じる素晴らしい内容で感銘を受けました。

院」を中心した医療サービス施設の総称である「亀田メディカルセンター」を運営し、地域医療の充実をめざし、統合ヘルスケアネットワークの考え方を取り入れ、地域の方が必要とする医療・介護のサービスを提供しています。

今回、見学することのできた施設をご紹介します。「亀田クリニック」は優秀なスタッフ、設備を備えた総床面積約22,000㎡、診察室約100室という大規模な独立型外来専用施設であり、今まで入院を必要としていた医療を外来で行えるという大きなメリットを生み出しています。東京駅や羽田空港からの交通の便もよく、全国から患者が受診に訪れるとのことでした。

1



亀田院長による講義



まるでホテルのような病室

亀田家は古く江戸時代寛永末頃、漢方医・蘭方医の時代から約370年間にわたり、医療を営んでこられました。6代目亀田自證氏は、日本人学者に医学知識を広めたシーボルトの教えを受けられ、明治の末期には、西洋医学による近代的病院として形態を整えられました。現在は、日本最大級の規模を持つ私立病院であり、千葉県南部の基幹病院として優れた人材や高精度機器を備え、さらに集中治療部門（ICU、CCU、ECU、NCU、NICU）を整備し、急性期高度医療の提供に力を注いでいる「亀田総合病

「亀田総合病院Kタワー」は、平成17年3月にアーキテクツハワイ＋モノリス＋大林組＋フジタが設計、大林組が施工し、平成18年の医療福祉建築賞を受賞しています。また、Kタワーは免震構造、総合病院A棟の一階は津波対策によるピロティ構造(耐震構造)となっています。

中庭が吹き抜けになっている「亀田リハビリテーション病院」は安藤忠雄氏の設計です。

亀田クリニック・Kタワーともにホテルと美術館が融合されたような、静かで明るい雰囲気を持つ病院です。これは「自分の部屋にいるようにリラックスしてもらえれば、余計なストレスを感じることなく回復も早くなるのではないか。」という亀田院長の患者に対する思いやりの現れと言えます。その思いは、内装、家具調度品、院内で市販している小物などを院長自ら海外より調達しているという点でも窺い知ることができます。また、院長の意向で明るく天国に一番近い最上階に設置された霊安室に、大切な人を失い深い悲しみの中にある遺族に対する思いやりを感じることができます。



華やかなインテリア



広く明るいバスルーム

最先端医療で注目を集める中、医療関係者以外の見学は受け入れていないとのことでしたが、今回、理事長の亀田隆明様と上原会長がご学友でありました縁で見学会が実現しました。

素晴らしい機会をありがとうございました。

なお、表題の『Always Say YES!』は『まずはYES、現場の意見は聞いてもコンセプトは貫け!』という亀田院長の座右の銘を引用させていただきました。



霊安室は明るく天国に一番近い最上階に…



亀田院長との記念撮影

また、同日に訪れた「ホキ美術館」については、会報かながわ平成24年9月号の建築探訪で湘南三浦支部の相馬様が書かれていらっしゃいましたので、そちらでご堪能ください。

【施設概要】

医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター

所在地：千葉県鴨川市東町929番地

オフィシャルウェブサイト：

<http://www.kameda.com/>

会員建築作品紹介



特別養護老人ホーム マナーハウス横山台

相模原支部 株式会社KAZ設計・工房

「特別養護老人ホーム マナーハウス横山台」は相模原市中央区の一角に位置し、現地は小学校や幼稚園も近接する活気にあふれる住宅街である。長方形の敷地の3方が6m道路に面し、明るく開放的な計画となっている。

建物概要

所在地：相模原市中央区横山台1-28-3	敷地面積：3,653.41㎡
建築主：社会福祉法人 草加福祉会	建築面積：1,859.05㎡
用途：特別養護老人ホーム120床 ショートステイ 20床 デイサービスセンター	延床面積：6,698.92㎡
設計監理：(有)一級建築士事務所 建築環境計画 株式会社KAZ設計・工房	
規模：鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階塔屋1階	施工：株式会社銭高組横浜支店

設計コンセプト

建築主が所属する医療福祉グループは日本全国に展開しており、東北地方にも福祉施設がある。東日本大震災時には入居されている高齢者や地域の方を守るため、大変な労力を払われた。その経験を活かし、非常時には地域の防災拠点として活用できる施設を目指したいという建築主の強い要望を受け、特別養護老人ホームとしての機能と防災センターとしての機能を併せ持つ計画となった。デザインコンセプトは施設名にもなっている「マナーハウス」(マナーは「荘園」という意味で、イギリスでは下級貴族やジェントリーに属する地主が建設した邸宅を指す)。

防災

避難所としての役割

当施設では自家発電機設備に予備燃料タンクを設けることにより、稼働時間を大幅に延ばしている。停電時には一部の照明や空調機器、電気コンセント、エレベーター等が使用可能である。また、トイレ排水等には井戸水を使用し、前述の自家発電設備により停電・断水時でも一部のトイレが使用できるよう計画した。更に地下には防災倉庫、各階各所に防災用収納を設け、非常用食料や水、防災用品を蓄えることができる。

環境

省エネルギーへの取り組み

屋上に太陽光発電パネルを設置し、発電した電力を施設で日々利用することにより省電力化を目指している。発電状況は敷地入口に設置された表示パネルで誰もが確認することができる。また、全館で湿度調整を行うことができる調湿換気システムを導入した。夏期は除湿、冬期は加湿することで、冷暖房設備の負荷を軽減している。



屋上：太陽光発電パネル



屋上：調湿換気システム

安心

医療的ケアのサポート

高齢者施設にとって冬期の乾燥は、入居されている高齢者の体調管理・疾病対策上、非常に大きな問題である。当施設では前述の調湿換気システムにより、冬期でも高い湿度を維持することが可能である。また、全個室(140室)の2割にあたる28室では医療ガス設備を設置し、酸素吸入と吸引を受けることができる。

緑

四季を感じられる場所

建物周囲には植栽の他に畑スペース、田んぼスペースを設け、入居者が家庭農園を楽しむことができるよう配慮している。また、3階屋上には「ビオトープガーデン(生物の生息空間)」として多様な自然とふれあえる場所を設けた。



3階屋上：ビオトープガーデン



4階：地域交流室

人

いつも人が賑わう場所

1階正面玄関から入ると右側はデイサービスの食堂兼機能訓練室となっており、来館者はデイサービスの「賑わい」を感じることができる。

4階には前述のビオトープガーデンに面して地域交流室を設置した。可動間仕切壁により部屋を区切ること、多様なイベントにも対応が可能である。また、館内各所にはおおよそ100点に及ぶ絵画が掲示しており、一種の美術館的な雰囲気を醸し出している。



ユニット内：共同生活室



ユニット内：居室(個室)

～歴史的建造物を訪れて～

Vol.57

～高知県・吉良川の池田家住宅と町並み～

横浜支部 小野 綾子

日本各地に残る民家は、その土地の風土・歴史・文化を今に伝え、私たちの心をときめかせてくれます。その魅力に取りつかれ、機会があれば日本各地の民家・町並みを訪ねる旅が趣味となりました。

今回ご紹介するのは、高知県室戸市吉良川(きらがわ)町と池田家住宅です。吉良川は室戸岬から北西に約16kmの位置にある海沿いの町で、平成9年に重要伝統的建造物群保存地区に選定されました。昔から林業が有名で、めぐまれた山の資源をもとに、木材・薪・備長炭などが発展し、京阪神に出荷した交易で栄えた土地でもあります。今も残る立派な町並みは、交易が盛んだった明治・大正期につくられました。この地域の民家の特徴は、何と言っても土佐漆喰の白壁と水切瓦です。

台風の通り道である高知の海沿いにある吉良川は、強風対策として水切瓦が発展したと聞いています。ただの水切り材としてではなく、土佐漆喰という地場の産業が生んだ腕の良い左官職人による仕事は、実用性以上にそのデザインの美しさから人々の心をとらえ、施主は高額のコストをかけて何段も重ねることを競ったようです。人々の富と豊かさの象徴にもなりました。吉良川の町並みを歩くと、ひときわ目立つのがこの池田家住宅の土蔵です。道の角にあるせいか大変目立つ位置にあります、4段～5段の連続した水切り瓦と、腰までのなま

こ壁が大変重厚で、この町のシンボルとなっています。

池田家は炭問屋として栄えました。表の道に面して、正門・店・土蔵があり、約300坪の敷地内

には、前庭・母屋・釜屋(台所)・中庭・離れがあります。現在はオーナーによる「蔵空間茶館」カフェとして、一般に公開され活用されています。

また、町並み周辺には、民家を取り囲むように配置された「いしぐろ」とよばれる石堀があり、台風などの強風から建物を守る工夫があります。

こちら水切瓦と同様、さまざまな意匠の工夫がされており、中には防風壁ということも忘れてしまうくらい、石の小口をきれいに積み上げた美しい「いしぐろ」もありました。

地域の風土と文化が形成した吉良川独特の町並みを見ると、用の美以上に、より美しいものを求める人々の心や、その想いに応えられる建築的技術の存在。

またなによりも、美しいものを作り上げようとした先人たちの意気込みが今にも伝わってくるようです。現在においてもよい刺激を与えてくれると感じました。



池田家住宅



水切瓦の町並み



池田家住宅土蔵



いしぐろ

場所：高知県室戸市吉良川町

交通：土佐くろしお鉄道でめん・なはり線

「奈半利駅」下車、車で約20分／

高知東部交通バス「吉良川学校通」下車、

徒歩約10分／車で高知から約1時間40分、

徳島から約3時間50分

25



25「カナダ雁」(ジム・ドラン)
大自然の中を力強く飛翔するカナダ雁の姿は、雄大なフィーリングを見る人々に与えてくれる。

24



24「トライアングル・ウィンド・ソング」(鈴木明)
人と環境と芸術が調和したリズムを感じることができる。

23



23「カリブー」(ジム・ドラン)
今にも跳躍しそうな雄姿、その見事な角に秘められた強さは命の輝きを感じさせている。

22



22「空を待つ柱」(土屋昌義)
陽光を反射し、隙間を風が通り過ぎることによって自然と共鳴する音楽的空間をも作っている。

21



21「あなたと…明日の空の色について」(武荒信顕)
自然と人工が絶妙のバランスで構成された幾何学的作品。

20



20「雨」(フェリオット・オズシエン)
天空に湧き出た雨雲が大地に雨を降らせる情景は天の恵みを感じさせてくれる。

19



19「射影子午線」(加藤義次)
大自然の醍醐味は発芽の瞬間、植物が芽を出す時の凄まじいエネルギーを表現している。

18



18「森の記念碑」(池田徹)
空間を切り取ったり付け足したりすることにより、大自然を凝縮し小宇宙を創造している。

17



17「庵(いおり)」(斎藤史門)
やがて錆び、朽ち果て、草木に覆われて庵となる。人の生活と歴史、過ぎ去った時間を表現している。

16



16「山目の目」(高橋政行)
山が突如目を覚まし変貌する下界にメッセージを送る。その眼差しに人は何を感じるのか。



町並み散策がらり in

相模原市の藤野では25年ほど前、あちこちに野外環境があります。JR中央線藤野駅をスタートし、半日かけてゆ

15



15「FLORA FAUNA」(原智)
それまでの静寂な空気が破壊され、また新たな呼吸を始める。

14



14「景の切片」(菅木志雄)
藤野の自然の空間のコントラストを鉄と石の素材で表現し、空間の広がりを実感させる。

13



13「語り合う石たち」(菅木志雄)
同じ形の8個、置とによりそれぞれを生み出している。



②「バッファロー」(ジム・ドラン)
生命の躍動感を、印影豊かな造形で表現している。



①「緑のラブレター」(高橋政行)
自然の素晴らしさ、環境の大切さ…「森と湖からのメッセージ」を人々の心のポストに送り続ける。



④「記憶容量—水より、台地より(2)」(岡本敦生)
環境の中でこれから各作品がどのように呼吸を始めるかを見届ける。



③「記憶容量—水より、台地より(1)」(岡本敦生)
石の持つ意外な表情を表現することを意図した作品。



⑥「COSMOS」(村上正江)
彼女が見つめる瞳は内に秘めた愛を持って太古へいざない、遠く宇宙へ旅立つ。



⑤「両側の丘の斜面」(三梨伸)
自然の中に異質な造形を持ち込むことによる空間の緊張感、相対性を感じることができる。



⑧「射影子午線」(加藤義次)
楕円、双曲線、放物線の三種類で構成され、射影空間の中に宇宙の広がり構成している。



⑦「限定と無限定」(古郷秀一)
彫刻と空間の固定的な枠を越え、見え隠れする新たな空間を提示している。

神奈川 自然にふれあい180分～藤野の芸術探訪～

彫刻が配置され、それが今日でも存在感を放っている。じっくりとアートを巡る芸術散歩はいかがでしょう？

(相模原支部 竹尾 秀一)



⑫「呟える」(植草永生)
「呟える」は凝縮された万物の叫びであり自己への回帰でもある。



⑫「呟える」(植草永生)
「呟える」は凝縮された万物の叫びであり自己への回帰でもある。



⑪「回帰する球体」(中瀬康志)
どこからか流れきて、ここに落ち着き、周囲の自然になじってしまった巨大な種子。



⑩「羅典薔薇」(加藤義次)
自然との共鳴があり、光の投影がある。常に連続的な変化の知性を秘めた作品。



⑨「森の守護神」(佐光庸行)
樹木の生命感あふれる姿を想像させ、過去から未来へと自然のたくましさ語り伝える。

一般社団法人神奈川県建築士事務所協会

第1回通常理事会 開催報告

日 時 平成25年4月11日（木）

14：00～17：00

会 場 一般社団法人神奈川県建築士事務所協会 2階会議室

出席者 理事23名 監事2名

議事に先立ち、4月1日付で着任をされた伊藤吉一参事の紹介と、理事の自己紹介を行った。

1. 審議事項

第1号議案 正会員（4月）の入会について承認を求める件

入会2名承認、退会8名報告にて会員数は777名

第2号議案 かながわ木づかい推進協議会委員及び運営部会委員推薦について承認を求める件

第3号議案 JIA 神奈川外部顧問就任について承認を求める件

第4号議案 神事協C P Dデータベース(仮称)整備について承認を求める件

第5号議案 平成25年度会員増強大キャンペーンについて承認を求める件

第6号議案 平成25年度事業計画案及び収支予算案について承認を求める件

第7号議案 (社)かながわ住まい・まちづくり協会住教育冊子編集協力について承認を求める件

3. その他

(1) 日事連報告

- 1) 第118回建築士事務所協会全国会長会議及び第60回通常総会等の概要についての報告
- 2) 平成25年度第37回建築士事務所全国大会についての報告

(2) 各委員会報告

- 1) 委員会活動報告

(2) 各委員会より

- 1) 平成24年度収支決算中間報告について（総務委員会）

(3) 行事予定等

- 1) 行事日程等
 - ・次回理事会5月23日（木）
 - ・第1回定時総会6月21日（金）
- 会場：ロイヤルホールヨコハマ

2. 報告事項

第1号報告 正会員（3月）の入退会についての報告

第2号報告 日事連建築賞への作品推薦についての報告

第3号報告 神奈川建築コンクールへの協賛及び審査委員派遣についての報告

第4号報告 (財) 建築技術教育普及センター 第1回普及事業助成の募集についての報告

第5号報告 後援名義使用(1件)についての報告

第6号報告 事務局職員についての報告

第7号報告 建築士事務所登録（平成24年度）についての報告

＜一般社団法人移行に伴う変更点＞

1. 理事会の開催回数は年度に関係なく通し番号となりました。
2. 監事の理事会への出席が、定款に定められました。

※理事会の詳しい議事内容につきましては、ウェブサイトの会員ページ内に議事録を掲載しておりますので、そちらでご確認ください。

支部だより 都内建築見学ツアー

川崎支部 恩田 耕爾

川崎支部では、毎年度末になると慰労と研修を兼ねた支部旅行が開催されます。今年は都内の建築見学ツアーでした。川崎支部は現在会員数では100人を越えましたが、今回はその2割程度の参加がありました。

登戸駅に集合し、バスに乗り込めば、ツアーの始まりです。世田谷通りから環七を抜け、高円寺駅前にある杉並区立杉並芸術会館「座・高円寺」(伊東豊雄)を皮切りに、午後には江戸川橋の「東京カテドラル聖マリア大聖堂」(丹下健三)、「東京都慰霊堂」(伊東忠太)を見学。墨田区本所の明治22年創業の割烹でちゃんこ鍋

を食しながら、感想を述べ合い懇親を深めた後に解散となりました。名残惜しみながら、割烹を出た頃には21時近くとなり、東京スカイツリーも紫色にライトアップされていました。また、ほろ酔い気分で楽しい気持ちが納まらなかったのか、夜の上野のガード下のほうへ流れていく背中もちろほら見えました。語り合える仲間がいるというのは、素敵なことであります。

仲間と和気藹々と会食を楽しみ、共通の話題である「建築」についての話に花を咲かせる…こんな素敵な行事が今後も続いて行けばよいなと思います。幹事さん、お疲れ様でした！



「座・高円寺」メインロビー



割烹にて懇親を深める

事務局職員のご紹介



伊藤吉一参事
(前職 神奈川県建築安全課長)



藤原拓職員
(平成25年4月1日付新規採用)

坂本歩美職員

渡邊美和職員

野口友弘職員

赤川満寿美職員



磯部崇事務局次長

羽賀幸治登録課長

平成25年3月31日付、三杉三郎専務理事及び友井眞言登録課長の退職に伴い、左の2名が新たに事務局に加わりました。また、磯部崇業務課長は事務局次長に、羽賀幸治事務局長は登録課長へと異動いたしました。

事務局一同、会員の皆様のために精一杯尽力いたしますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

タウンビュー

東急東横線 旧渋谷駅ホーム



平成25年3月15日に役目を終えたホームは閑散としていて、さらには仮囲いで廻りを塞ぎ、屋根の解体が始まっていました。寂しいものです。

ソメイヨシノ



サクラサク。お花見しましたか？

ニワザクラ

9

? 旅のクイズ 第34回 ? ? ?

問題

ヨーロッパのとある街角、といった風情のある石畳の小道。…実は、日本のどこかにあります。さて、何県にあるでしょうか？

(ヒント：神奈川県よりも西にあります。)

答えをメールまたはFAXにて神事協事務局までお寄せ下さい。正解者の中から抽選で御一人に1000円の図書券を差し上げます。

(FAX: 045-212-3807)

E-mail: sakamoto@j-kana.or.jp)

※締め切り：平成25年5月20日 (月)

当選者は6月号にて発表予定です。

※広報情報委員と事務局員及び家族の方のご応募はご遠慮ください。



第33回の当選者は残念ながらいらっしゃいませんでした。

正解：京津都市間鉄道 天津駅 (北『京』-天『津』間を結んでいる新幹線です。)

会員異動報告		
入会		
川崎支部		
一般社団法人川崎市建築設計事務所協会		田辺真一郎
〒210-0002 川崎市川崎区榎町1-1 川崎センタービル205		
TEL.044-201-9201 FAX.044-201-9202		
藤沢支部		
一級建築士事務所山本設計		山本 徹
〒252-0815 藤沢市石川31		
TEL.0466-88-8823 FAX.0466-88-8824		
退会		
横浜支部		
有限会社オンデザインパートナーズ		西田 司
有限会社坂口正美建築設計事務所		坂口 正美
有限会社オフィス・ヒロ		染谷 浩一
横須賀支部		
アティック建築設計工房		大矢 篤志
藤沢支部		
遠藤建築設計事務所		遠藤 秀夫
一級建築士事務所AtelierKYU		小坪 泰史
鎌倉支部		
株式会社池田工務店一級建築士事務所		池田 訓侑
平塚支部		
浅野建築事務所		浅野 明
変更		
横浜支部		
一級建築士事務所刈山工務店（神奈川） （事務所名変更）		
株式会社かりもく建築事務所		
鹿島建設株式会社横浜支店一級建築士事務所（中） （指定代表者変更） 柴山 壽仁		
株式会社アルコン一級建築士事務所（港北） （指定代表者変更） 藤田 勝典		
ガリユウ建築設計事務所（緑） （所在地変更） 〒226-0011 横浜市緑区中山町917-1 サンハイム101		
川崎支部		
有限会社ナカタ設計（川崎） （所在地変更） 〒210-0022川崎市川崎区池田1-2-16 ニュー池田ハイツ103		
湘南三浦支部		
安達則子生活デザイン事務所 安達 則子 （支部変更） 横須賀支部から湘南三浦支部へ異動		
共済会友異動報告		
退会		
横浜支部		
千賀 義二		
本誌掲載記事の内容は執筆者本人の見解において記述・掲載をしております。 神事協としての見解ではございませんのでご了承下さい。		

賛助会異動報告					
退会					
千代田ソイルテック株式会社					
新日建基株式会社					
5月の行事予定					
5月7日	かながわ政研役員会				
	支部長会				
8日	設計監理指導委員会				
9日	総財務委員会				
10日	裁判事例に基づく調査及び報告書のまとめ方について 会場:神事協会議室				
11日	地引網 会場:片瀬江ノ島海岸 「殿網」				
14日	一般社団法人移行記念ゴルフ大会 会場:大相模カントリークラブ				
15日	JW-CAD(Excel)講習会 会場:東部総合職業技術校				
16日	監査会				
17日	企画業務委員会				
20日	景観まちづくり特別委員会				
21日	「住・緑・家」運営特別委員会				
	マンション等の大規模修繕業務部会				
22日	JW-CAD(Excel)講習会 会場:東部総合職業技術校				
23日	家づくりセカンドオピニオン特別委員会				
	正副会長会				
	理事会				
25日	tvk「秋じゃないけど収穫祭」協賛・出店				
26日					
28日	木造特別委員会				
	地盤調査に関する勉強会 会場:神事協会議室				
29日	技術調査委員会				
会 勢					
平成25年5月1日現在					
支部名	平成24年3月末日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	251	249	2	4	-2
川 崎	101	104	3	0	3
横 須 賀	54	52	0	2	-2
湘 南 三 浦	18	20	2	0	2
藤 沢	25	24	0	1	-1
鎌 倉	39	38	0	1	-1
茅ヶ崎寒川	19	19	0	0	0
平 塚	23	22	0	1	-1
秦 野	18	18	0	0	0
伊 勢 原	8	8	0	0	0
大 和 綾 瀬	21	21	0	0	0
厚 木	35	35	0	0	0
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	15	15	0	0	0
愛 川	8	8	0	0	0
相 模 原	82	83	1	0	1
県 西	48	49	1	0	1
合 計	777	777	9	9	0
賛助会員	79	78	1	0	1
※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております					
編集後記					
新緑の木々の間、新芽をなでる薫風に私たちの心が和みます。今年の桜の花便りは、気候の不順とやらで例年のような心ときめく知らせが少ない様な気がしました。近在の桜は、「うそ」という鳥に食べられ哀れな様子でした。来年はいつもの誇らしげに咲く桜を愛でたいものです…					
さて、皆様にお届けしている会報誌の編集も、8月号からは新たな広報情報委員会へ交代となります。この誌上をお借りして、現委員の皆様には心から感謝いたします。会員の皆様により多くの情報を提供させていただきたいという強い思いで、議論しながら毎月発行をしてまいりました。新しい委員の方々がどのような会報誌が発刊されるのかを大変楽しみにして、まずは現委員の皆様には「お疲れさまでした」を申し上げる次第です。					
(担当副会長 芝 京子)					

かながわ 平成25年5月号（通号379号）

発行 平成25年5月1日（毎月1日発行）
発行人 上原 伸一
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12
第3不二ビル2F
TEL. 045-228-0755
FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

： 担 当 副 会 長 芝 京子
： 広 報 情 報 委 員 長 佐 藤 光良
： 広 報 情 報 副 委 員 長 内 藤 隆之
： 広 報 情 報 委 員 恩 田 耕爾
： 小 泉 厚
： 高 橋 保博
： 新 倉 良一
： 坂 本 歩美
： 事 務 局
北 野 義夫
杉 崎 雅治
竹 尾 秀一

●●イベントのご案内●●

「2013 tvk 秋じゃないけど収穫祭」への協賛・出店が決定!!

tvk（テレビ神奈川）が主催し、今年で7年目を迎えるという大型イベント「2013 tvk 秋じゃないけど収穫祭」に協賛として「一般社団法人神奈川県建築士事務所協会ブース」を出店します！

このイベントのテーマ“「地産地消」「環境」「食育」の推進”にもとづき、当日は神奈川県森林応援プロジェクト・設計者選定コンペシステム「住・緑・家」のPR、県産材を用いたマイ箸づくり体験コーナーやまな板の販売などを行なう予定です。

●イベント概要

*日程 平成25年5月25日（土）、26日（日）の2日間

5月25日（土）11：00～17：00

5月26日（日）10：00～16：00

*会場 第1会場：日本大通り（日本銀行横浜支店前）

第2会場：日本大通り（神奈川県庁本庁舎前）

第3会場：象の鼻パーク

（出店会場は未定です。）

*イベント内容

- ・県内産の食品・加工品、環境に配慮した雑貨などの販売
- ・環境保全に取り組む企業や団体のPRブース
- ・トーク&音楽ライブなどのステージイベント
- ・親子参加型ワークショップ など

2日間で13万5千人が
（※2012年実績）
あつまる大人気イベント!!

ご家族、お友達etc

みんな揃って

横浜へ集合♪

●当日の様子がtvkで放送されます★(5/25予定)

主催 tvk（テレビ神奈川）、日本大通り活性化委員会

共催 横浜市中区役所

後援 神奈川県、神奈川県教育委員会、
横浜市環境創造局ほか（予定）

